

2023年11月9日

神奈川県交通株式会社
取締役社長 伊藤 宏様

新都市交通労働組合
執行委員長 藤井勇悟

2023年秋闘要求書

昨今の歴史的な物価高騰の中、いまだ賃金は上がらず我々の生活は苦しくなる一方である。さらに政府が推し進めようとしているライドシェアや無人タクシーの導入により、タクシー業界の未来は決して明るくない。また、これまで何度も乗務員の労働環境の改善のためと銘打ってタクシー料金が改定されてきたが、一度も労働条件が改善されたことはない。今回の改定でこそ給料体系の見直しなど、改善を期待したい。

2024年問題は乗務員を増やす最大のチャンスである。それに向けて会社として、どう乗務員獲得のために取り組んでいくかを真剣に取り組んでいただきたい。

上記を踏まえて、次のことを質問・要求する。

尚、回答は2023年11月16日までにお願ひ致します。

《記》

【質問】

- 1) ライドシェアに対する会社としてのお考えをお示してください
- 2) 2024年問題についての会社としてのお考えをお示してください

【要求】

- 1) 皆勤手当の設定（稼働率を上げるための有効な手段）
満勤乗務員に対し、足切りに関係なく皆勤手当を以下の条件にて支給すること
12乗務 10,000円
8乗務 8,000円
5乗務 5,000円
- 2) 人間ドックの一部費用を負担すること
高齢ドライバーが増えている中、人間ドックで健康管理をしていることがお客様の安心につながり、会社への信頼にもつながる
- 3) 経費節減
乗務員は会社の意向に沿って様々な経費節減を行っている。会社のトップである社長自ら経費節減にご尽力いただきたい

以上